



新年明けまして

おめでとうございます。

2025年の新春を皆様と共に迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

秋山会頭をはじめ、会員の皆様には、日頃から、本市のまちづくりに温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、本市にとりまして、市制施行85周年、そして十王町との合併20周年を迎えた記念すべき節目の年でありました。こうした中、市政の推進におきましては、



共創で刻む 新たな歴史

日立市長 小川 春樹

共に日立市の新たな魅力を創造していく、まさに「ひたちらしさ」の原点とも言えるまちづくりを展開することができました。

そして、こうした取組を懸け橋として、次の未来に向けて皆様と共に新たな歴史の1ページを刻む本年は、「日立市総合計画・前期基本計画」が4年目を迎えるとともに、人口減少対策などの道標となる「第3期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートする年であります。

超少子高齢社会における人口減少の深刻な進展や、出口の見えない諸物価高騰など、依然として地域経済の先行き不透明な状況が続

いておりますが、本市といましては、引き続き、エネルギー価格高騰の影響を受ける事業者の皆様へのきめ細やかな支援に努めてまいりますとともに、「ものづくりのまち」としての更なる成長や新産業の創出に向けた取組を加速させながら、雇用の創出にも力を尽くしてまいります。そして、北部消防署の移設新築や令和5年台風13号を教訓とした「安全・安心のまちづくり」、若者・女性の定住化、活躍支援などの「地方創生・人口減少対策」、国道245号線久慈大橋4車線化をはじめとする幹線道路の整備促進や常陸多賀駅周辺地区整備の推進などの「都市力の向上」、

そしてデジタル化や脱炭素社会の実現を目指す「持続可能なまちづくり」など、取組中の事業をさらに推進しながら、「全ては市民の皆様のために」を市政の基本に、県北地域の中心都市として、安心と活力に満ち、誰もが未来に夢や希望を抱くことができるまちづくりを力強く進めてまいります。日立商工会議所の皆様におかれましては、引き続きましてのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして、ご家族共々、健康で幸多き一年となりますよう、心からお祈りいたします。



変化する事業環境へ対応を

日立市十王商工会 会長 和田 芳信

新年明けまして

おめでとうございます。

日立商工会議所会員事業所の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より日立商工会議所の皆様には、当商工会事業運営にあたり、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新春にあたり、一言ご挨拶申し上げます。昨年は大谷選手の活躍など明るい話題もございましたが、能登での災害、日銀マイナス金利解除、続く円

安・物価上昇と、私たちの事業に、大きな影響を与える出来事も数多くありました。災害のあった能登、北陸からは江戸期、常陸の国にお寺の宗派関係で、入植されてきた方も多いと聞きます。進取の気風に富み、堅実な暮らしぶりで、生活を築き上げた。能登の早期復興を祈りますとともに、事業においても改めて、進取と堅実の大切さに思いを馳せます。

また、昨年は金利、物価上昇を感じる年でした。特に米価など、飲食店の皆様にはご負担が大きかったかと思われま。さらに、最低賃金も千円を超え、今後、千五百円になっていくとのこと、物価も短期間で最低でも1.5倍のインフレ時代を覚悟していかねばなりません。

このような中、商工会も日立商工会議所の皆様とともに、昨年、商工業者の皆様の支援、地域の振興に取り組んで参りました。事業の持続的な発展のため、身近な経営における相談窓口として、事業者に寄り添っ

た「伴走型支援」に努めるとともに、国や県、市と連携を図りながら、各種支援策の普及・推進に取り組み、地域の経済活動、コミュニティを支える一翼を担いました。販路開拓、定額減税、働き方改革、災害時の事業継続力強化への対応等幅広い支援に取り組みしました。

ようご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

急速に変化する経営環境の中で、今後とも日立商工会議所の皆様との連携を密にしながら、地域の皆様への効果的な支援を行っていききたいと思っております。最後になりましたが、皆様にとって本年が明るく希望に満ちた一年となります



2025 副会頭年頭所感

副会頭 郡司 洋子



会員の皆さま

まにおかれましては、健やかな新年をお

迎えのことと心よりお慶び申しあげます。平素より当所事業運営につきましては、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、昨年は、能登半島地震や羽田空港での飛行機事故があり、波乱の年明けを迎えましたが、日本経済は緩やかな回復基調となり、日経平均株価は初の4万円台を記録し、円安の影響による外国人観光客の増加なども見られました。反面、賃上げや物価の高騰、人材不足などにより難しい経営の舵取りを強いられたことと思います。そのような中、商工会議所の礎を築いた渋沢栄一翁が描かれた新紙幣が発行されたことは非常に感慨深く、パリオリンピック

での日本人のメダルラッシュや、メジャーリーグで大活躍する大谷選手の姿は、多くの感動と勇気を与えてくれました。日立市内では初のフル馬拉ソン、ひたちシーサイド馬拉ソンが開催され、日立市の新しい秋の風物詩になると思われ、当商工会議所事業もセミナーや視察などを中心に活発に行うことが出来ました。

私達、中小企業を取り巻く環境は、先行きが不透明な状況にあります。デジタル化の推進による作業の効率化や、中小企業同志のサプライチェーンの構築による競争力の強化など、中小企業でも出来ることの選択は増えましたので、これから会員皆様のお知恵やご支援をいただきながら人と人をつなぐ橋渡し役となれるよう努めてまいりたいと思います。

皆様にとって、実り多い1年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶と

させていただきます。本年もよろしくお願い申しあげます。

副会頭 小泉 裕樹



会員の皆様

におかれましては、健やかな新年をお迎

えのことと心よりお慶び申しあげます。また、平素から日立商工会議所事業にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

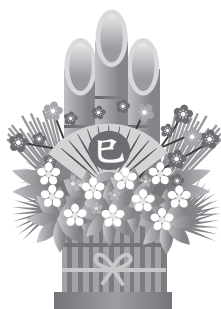
さて、昨年は物価高騰や人手不足という厳しい現実に直面し、多くの事業者がその影響を受けました。食料、包材、燃料等の高騰や人件費の上昇は私たちの経営を直撃し、その対応に苦慮した1年となりました。

今年も引き続き困難な状況が予想されますが、この厳しい環境を乗り越えるために、デジタル化や業務効率化など経営基盤を強化す

るとともに、地域全体の連携を強め、魅力的なサービスや地域資源を活かした取り組みなど、独自性の確立を図りながら新たな価値を提供していくことが求められます。

日立商工会議所では、こうした課題解決に向けた情報提供や支援活動を一層推進し、地域事業者の成長を支援しながら、街のにぎわいと活気を取り戻せるよう会員企業の皆様と共に地域経済の発展を目指してまいります。

結びに、本年が会員の皆様にとって飛躍の年となることを心よりお祈り申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



副会頭 川崎 健輔



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと存じます。平素より商工会議所の活動にご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2024年は地域経済が新たな成長を模索する一年でした。多くの課題に直面する中、地域の企業や皆様の努力が結実し、多方面で希望の光が見えた年でもありました。

さくらまつりでは、日立風流物が5年ぶりに公開され溢れんばかりの人だかりができており、青年部主催の常陸ノ国グルメフェスは天候にも恵まれ、過去最高の来場者数となり皆さん笑顔で市内外のグルメを堪能しておられました。他にも市内各所で地域活性化に向

けた各種催しが開催され、賑わいを見せていました。これらの催しは地域の絆を深めるきっかけとなり、日立市の魅力を再発見する場になったことと思います。

2025年は、地域の更なる発展と持続可能な社会を目指し、商工会議所としての使命を改めて肝に銘じ、活動を進めてまいります。特に、デジタル化やグリーン経済への対応、中小企業支援、地域人材の育成などを重点項目として、皆様とともに、力を合わせて地域の未来を築いてまいりたいと存じます。

本年は干支で言う「巳(み)、蛇の年です。蛇は脱皮を繰り返し成長することから、変化や再生、前進の象徴ともされています。この一年が皆様にとって新たな可能性を切り拓き、大きく成長する年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。変革の時代には困難に直面することも多くあるかと思いますが、人と人との繋が

副会頭 前島 康



健やかな一年の始まりに感謝をこめてお慶び申し上げます。

りを大切に相互扶助の精神のもと、一致団結して力強く邁進していきましょう。結びに、本年が会員の皆様にとりまして、幸多い年となることともに、事業の益々の発展を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

副会頭の重責を担い二年が経ち改めて感じますことは、現在の商工会議所の姿がありますのは、国、県、市、関係機関のご支援はもとより、歴代会頭並びに会員の皆様、並びに事務局職員の多大なるご尽力のおかげと改めて感じます。その感謝の思いを胸に本年も地域経済の振興に邁進したいと気を引き締めております。

昨年は、コロナ後、制限のない平穏な日常が戻りつつある初めての年で、様々なイベントや催しが実施され、経済がじわりじわり動き出しつつある一年でした。その一方で、人手不足の問題が大きな課題になり「人手不足の現状および多様な人材の活用等に関する調査」の集計結果は63%と、深刻な状況だといわれています。政府は、その解決策として「三つの壁」という打開策を掲げて協議を重ねているとの事でした。

政策には、103万円の壁・106万円壁・130万円の壁があり、なかでも所得税に関わる103万円の壁が大きくクローズアップされている現状ですが、大企業とは異なり、人口の問題、経済の2極化の問題や産業の集積が少ない地域の中小企業は、大手企業とは状況が違ふと思います。

特に「106万円の壁」で厚労省が、労働者側の保険負担を見直し、事業者側の負担を増やせる特例を検討する案を示していることにつきましては、物価上昇に消費者の需要が追い付いていない地方の中小企業には、負担を軽減する財政的措置を是非お願いしたいと思います。

地方の中小企業は経済や文化を支え、活力を与えるものであり、雇用を促進し、インフラ的要素も含んでおります。このような問題や質問をみんなで考え、セミナーの実施や相談会にて解決できるよう努めていきたいと思ひます。

皆様方のご活躍とご健勝を、心からご祈念申し上げ、会員の皆様方のご協力をお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

日頃より当女性会事業に對しまして、格別なご配慮とご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

昨年を振り返りますと、1月の能登半島地震に始まり、台風や大雨など全国で自然災害が多発しました。テレビ等

日立商工会議所女性会

会長 山本 美穂



で防災関連の特集が組まれるなど、これまでになく自然災害への危機感が高まった年であつたと感じました。

当女性会では、このような環境変化や地域情勢を捉えた事業を実施いたしました。

日立さくらまつりでは、能登半島地震災害義援金チャリティゲームを実施、その全額

を寄付いたしました。その他講習会で災害に備えての心構えを学ぶことで改めて防災対策と危機管理について考えることができました。また、若手後継者育成事業では、趣向を凝らした企画として泉神社宮司を講師に、地域の活性化と後継者育成について学びを深めました。

日立商工会議所青年部

会長 大畠 奉



謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年はたくさんの方の出来事がありました。元旦に起こりました石川県能登地方を震源とする地震では、多くの命が奪われ、改めて自然災害の恐ろしさを感ぜさせられました。

経済の面では、世界的物価高の影響も色濃く、日経平均株

価も34年ぶりに史上最高値を更新しました。商工会議所を設立した、洪沢栄一翁が一万円札に採用された事も、我々にとつては大きなニュースとなりました。

商工会議所青年部は、地域の経済団体としてたくさんの方の事業に取り組んでいます。その中でも、昨年初の開催とな

ったひたちシーサイドマラソンへの協力、日立産業祭での山辺町芋煮無料配布協力は印象的な事業でした。地域の皆様と直接関わりを持ち、交流することは、日々会員同士で交流するだけでは得られない、日立市民のエネルギーを感じての貴重な機会となりました。

本年におきましても、時流に沿った地道な事業の実施と、会員同士のつながりを大切に、楽しく活動をして参りたいと考えております。

本年もご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様にとりまして本年が有意義で実りの多い年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

40周年の節目を迎え、気持ちも新たに事業に取り組んでいきます。これからも、常に自己研鑽に励み、地域活性の為に取り組んでいこうと思っております。

皆様にとりまして本年が実り多い年となりますようお願いいたします。

今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



漆器の取り扱い

お正月は、重箱やお屠蘇に使う漆器類が、料理とともに食卓に彩を添えます。こうした漆器類の取り扱いで肝心なのは、まず漆を塗った表面を傷つけないようにすることです。表面を傷つけるとそこから塗りのはがれやすくなります。

長時間水の中につけておいたり、熱湯で洗ったりすることも避けてください。塗りはがれ、木地が変形する原因になります。また、ほかの食器と一緒に洗いおけなどに入れて洗うと、茶碗の角や糸底などに当たって、漆器を傷つける恐れがあるので、漆器類だけをまとめて洗うようにしてください。洗うときは、ぬるま湯で、ガーゼのような柔らかい布を使って、丁寧に洗います。また、洗った漆器を薄めに溶かして洗い、よくすすぎます。

重箱の隅の汚れは、取りにくいものです。割り箸の先を細く削り、綿を巻き付けて、重箱の隅をほじくる。要領で、汚れをこすり取ります。漆器に油がついていたら、洗う前にティッシュペーパーでふきとってから、ぬるま湯で洗うのがコツです。

洗った漆器類は、ガーゼなどでふいて水気をよく取り、風通しのよい所で乾かしてください。しまうときは、柔らかい和紙かティッシュペーパーに丁寧に包んで、箱に入れます。このとき、漆器に手の脂や指紋をつけないことが大切です。木綿の手袋をはめるようにしてください。